

乙姫城

妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

もうすぐ「妻木の文化財展」!

本年も妻木の歴史と文化財を紹介する文化財展を十一月一日(日)に行います。この機会に歴史散策と文化財の鑑賞をお楽しみ下さい。

火縄銃の実演

この地方では唯一の火縄銃の実演です。火縄銃は尾張田付流古式砲術保存研究会の皆様にご協力により実施します。



妻木城主の時代展 「朝露の謎に迫る」

八幡神社に奉納された刀剣「朝露」は、妻木城主妻木家頼の差料です。紀州藩家臣妻木嘉左衛門より八幡神社に奉納されましたが、その詳細はわかっていませんでした。今回紀州妻木氏子孫妻木龍雄氏のご厚意により古文書の調査を行い、その中に「朝露」に関する史料があり現在研究中です。今回の展示では古文書の一部を展示し、安土桃山から江戸時代初期の妻木一族を紹介します。

崇禅寺の虫干し(雨天の場合は中止)

崇禅寺は文和三年(二三五四)に美濃守護土岐頼貞の孫にあたる土岐明知彦九郎頼重が建立しました。妻木城主の菩提寺として代々の城主の位牌をはじめ、多くの文化財が残されています。

八幡神社の文化財展

八幡神社は妻木城主の氏神として、社殿再建の記録である棟札をはじめ多くの奉納品が残されています。主なものに妻木家頼願状、刀剣「朝露」、妻木家頼所領の甲冑などがあります。

鎧を着て歩きたい方がありましたら事務局まで御連絡下さい。鉄砲隊と小学校から八幡神社まで行列します。

妻木さんサミット開かれる

去る十月十日十一日の二日間「妻木さんサミット」が開かれました。全国より四十四名の妻木さんに集まっていたが、当会の特別顧問土岐實光氏、土岐市長塚本保夫氏など多数の来賓を迎え盛況の内に終わることが出来ま



崇禅寺本堂にて

した。

一日目は八幡神社の参拝に始まり、妻木一族についての講演、懇親会と続き、二日目は妻木城跡の見学、崇禅寺で先祖供養が行われました。午後は八幡神社の流鏝馬神事を見学していただき、二日間の日程を無事終了いたしました。参加された方は宮城県から広島県まで十三都府県にわたり、妻木姓の全国的な広がり

再認識させられました。

集まっていたいただいた皆さんに満足して帰っていただけたか、呼びかけた側の力不足を感じていますが、妻木町の歴史と自然には堪能していただけただけのものと思います。



崇禅寺城主墓所にて

今回のサミットにあたり多数の史料情報を寄せていただき、今後の調査研究に弾みがつきました。

妻木町と全国の妻木さんの縁がより深くなるよう今後の活動に大きな期待が寄せられています

全国の妻木さんご対面、

土岐で19家族集いサミット



先祖を思いをさせ、妻木氏の氏神だった八幡社を参拝する面の妻木さんら（土岐市妻木町）

土岐の守護・土岐氏の一族で土岐市妻木町、旧妻木城址にちなんで「妻木さんサミット」が十一の西日、同日、ケ原の戦いで、東軍（徳川）に劣八幡神社を占領された妻木城跡の会（鶴岡金一）で土岐市を治めた土岐氏の一族の主幹、全国から妻木姓を輩出する人集まり、ルーが旗本として幕末まで存続した。

城跡や土屋敷跡訪ね 先祖の偉業をしのぶ

ツを同じくする人々を交流を深めた。同会が電話帳で調べたところ、サミットには、十九家族、四十三人が参加、十日は会館で土岐市を治めた土岐氏の一族について、妻木氏が創建した八幡社に参拝。これにちなんで、ほんごが妻木城跡、土屋敷跡を訪ねた。城主の子孫を認められ、甲斐（現山梨）市岡野町から、妻木一族についての調査を聞いて、多いという。同会では、その歴史を知る人もあり、先移住して、徳川幕府が静岡にその歴史に感銘した。旗本としていた。その日は妻木城跡や（さ）は」と推測している。

中日新聞より

妻木城の調査はじまる

昨年度に引き続き妻木城の発掘調査が、土岐市埋蔵文化財センターにより始まります。昨年は妻木城山麓に広がる御殿跡土屋敷跡の測量調査と一部発掘調査が行われましたが、本年は山頂の城跡の範囲の測量と本曲輪などの主要部分の試掘が行われます。今まで学術的な調査が

行われたことがありませんので、今後の研究の基礎資料としての成果が期待されます。

妻木城は室町時代初期に築城されたと云われ、江戸時代初期に妻木氏断絶により廃城になったといわれます。土岐明智氏から妻木氏へ城主の交代した経緯や、明智光

秀との関係、妻木氏断絶の真相など謎の部分も多く、発掘などの考古学的な研究と、古文書などの史料研究によって一つづつ解明されていくものと期待されます。

発掘説明会も予定されておりますので機関誌にてお知らせいたします。

史料情報をお寄せ下さい。

妻木城主一族の研究を執筆中です。本年度事業として冊子の発行を予定しています。妻木さんサミットの呼びかけにより多くの史料情報が寄せられ、当初予定の冊子より大幅なページ増になっています。より一層の内容の充実を図るため現在調査中です。今暫くお待ち下さい。また史料集も順次発行する予定ですので皆様のご協力をお願いいたします。

「妻木さんサミット」、「文化財展」とこの秋は行事が続きます事務局の面々も少々疲れ気味です。手伝ってやろうという方がありましたらお願いします。

11月1日は妻木町文化祭 **'98 妻木の文化財展**

時 11月1日(日)9:00～16:00

場所 妻木小学校・崇禅寺・八幡神社・妻木城跡

西軍岩村勢を土岐口で迎え撃つ

慶長五年(一六〇〇年)徳川家康(東軍)に味方した妻木城主は、西軍岩村城主田丸直昌の軍勢を土岐口で迎え撃つ、田丸勢は多治見村の百姓を人質として連れ帰る途中、妻木勢の待ち伏せにあう。一齐に火を噴く火縄銃の前に岩村勢は敗走し、高山城に人質を捨てて逃げ帰る。ここに東濃の「関ヶ原合戦」は始まる。

イベント「火縄銃の実演とよろい武者行列」

11月1日午後1時より妻木小学校校庭スタート

戦場本陣の再現 火縄銃の実演・火縄銃の勉強会など

凱進行列 小学校より八幡神社まで武者行列

戦勝報告(八幡神社境内 午後2時頃より)

火縄銃の実演・古式流鏑馬の披露・鉄砲隊との記念撮影など

展示「妻木の文化財展」 9:00～16:00

妻木城主の時代展(妻木小学校ワークスペース)

特別展示「朝露と嘉左衛門」

従来謎とされていた朝露の由来と嘉左衛門についてを解き明かす古文書の数々を展示いたします。

崇禅寺の虫干し(妻木城主の菩提寺、虫干しの為雨天の場合は中止)

八幡神社の文化財展(妻木城主の守護神、城主ゆかりの文化財多数)

妻木城跡・御殿跡(ご自由に散策下さい)